

いつも身近な存在でありたいと思っています

# 会宝通信 ~KAIHO Communication~

第141号

発行日 2013年8月1日発行

## 7月12日 細田慶大教授講演会

こんにちは、近藤です。7月12日、当社近くの石川県森林組合連合会ホールにて、環境経済学の第一人者である細田衛士慶應義塾大学経済学部教授の講演会を行いました。ガラス再資源化協議会およびRUMアライアンスが協賛です。

細田教授は大学で「環境経済論」を講義するかわら、多くの日本の廃棄物やリサイクル政策に携わっています。リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の会長でもあります。

講演は「激変する市場環境における静脈産業の在り方」という演題で行われました。「変動しない経済はこの世に存在しない」「アベノミクスがどうなるかは運次第で誰もわからない」「成功の条件としては、インフレ期待が生じて有効需要の増加と結びつくことである」「大事なことは、状況の良いうちに力を蓄え、能力を向上させること、付加価値を創造する力を持つこと、日々の仕事をきっちり行うこ

と」「静脈ビジネスはまだまだ旧来型の古い商慣行に依存しており、未成熟な市場である、透明で標準化したビジネス慣行がない、ここからの脱皮が必要」「付加価値はあらゆるところから生み出せる、情報や知恵のネットワーク、効率的な集荷能力、組織のガバナンス、ニーズを探し出す能力、シーズとニーズをつなげる能力」など。

現在の静脈産業はネットワークのないばばらな動きとなっているが、将来は連合・コンソーシアム型、ホールディングス型に変化していくであろう。すでにEUでは廃棄物マネジメント会社で従業員数3,000名、年商約3兆円、純益7百億円の企業が実在する。自己を冷静に分析し、強みを認識、自分にはないものを補うパートナーとの連携が重要なポイントとなる。さらに品質を確保し、透明性、説明責任などを担保する。

どんな優れた動脈ビジネスも景気の波を受け、それを乗り越えてきた、その基本スタンスは静脈にも生きると。教授の講演内容と当社の経営方針に相通するものが多く、今の方針を継続していこうと改めて感じた講演会でした。



# ~広報コーナー~ キラリと光る存在に

今月は、国際業務部の山口 未夏さんからコメントをいただきました！！



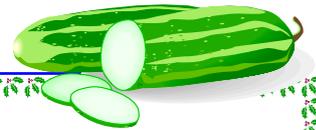
・今月の出番・  
国際業務部  
山口 未夏さん

皆さまこんにちは、国際業務部の山口です。入社して早くも4ヶ月が経ちました。私は現在国際業務部の輸出課の配属となっておりますが、来年からガーナに行く予定でスケジュールを組ませていただいています。そのため、ガーナで仕事をするにあたり、必要な知識をつけるため、現在は倉庫現場で働いております。

入社当初は、車に関する知識は一般常識程度もなく、ボンネットの開け方も分からず、車のメーカーが何社か言える程度しかありませんでした。しかし、現在はエンジンの型式とパーツの名前を少し分かってきました。仕事では、失敗したり要領よくできなかつたり毎日落ち込んでいますが、今まで一度も仕事に行きたくないと思ったことはありません。それは、アフリカに行きたいという自分の希望を受け入れ、スケジュールまで立ていただいたことで目標が明確であることや、倉庫メンバーをはじめ本当に多くの先輩方が色々な知識や考え方を教えてくださるからです。

今まで皆さんに支えられ、何かをしていただいていたばかりでしたが、これからは少しでも会社に貢献し、自分と会社の間WIN-WINの関係を構築していきたいと思っています！

## 農業の取組み ~農業事業部より~



### 《 今年1作目の終了と2作目の準備 》

皆さまこんにちは、農業事業部の畠中です。今月は中旬まで真夏のように暑く、後半はまるで秋にでもなったかのように朝方は涼しい日が多かったですね。ハウスのトマトはこの時期熟すスピードが早く、1日の採れる量も増えてきています。朝の5時から収穫を開始し、午前中はずっと収穫をするという日も多く、先月と同様に主な作業は収穫・出荷作業となりました。今回は、出荷作業に2~4名のパートの方たちの協力もあり、出荷に関してはスムーズにいったと思います。収穫に関しては、前日の天候に左右されがちですが、多い日で1日100キロ以上は採れました。ただ、若干段取りが悪かったかなと思われる点もありましたので、次回への課題とし、改善案を考えていきます。

今月の下旬よりも早くにトマトを植えたハウスは収穫が終わり、次作への準備に取り掛かっています。今月中には全ハウスで収穫が終了する予定です。終了次第、次作への準備に取り掛かっていきます。写真は収穫がほぼ終わり、上に少しだけトマトの実がついている株と、それらも採り終わり株を撤去した後のものです。

8月の主な作業は、植え替えとその準備となります。株の撤収、株付近の根の除去、培土の調整と補給と整地、そして定植とやるべきことはたくさんあります。8月という最も暑い時期で、ハウス内での作業は非常に大変ですが、水分補給と適度な休憩をはさみ、体を壊さないように皆で頑張っていきます。



# 改善提案の事例

～2013年上半期まとめ～

皆さまこんにちは、総務部の松島です。今回の改善提案のコーナーは、2013年上半期の各部署の成績と改善提案制度についてご説明します。

まず、2013年上半期の成績です。順位は1位がアライアンス部、2位が車輛営業課、3位が国内部品課となりました。4月までは車輛営業課の独走でしたが、5月でアライアンス部が逆転し、見事上半期の1位に輝きました。下半期はどのような提案が提出されるか楽しみです。

次に、改善提案制度についてご説明します。改善提案を行う目的は大きく分けて2つあります。1つ目は気づき力の向上です。改善提案を通して気づきや創造力を向上し、人間力をアップさせることができます。2つ目は利益の向上です。社内の細かい無駄に気づき、小さな工夫を重ねることで、経費を削減したり、生産性を高めることができます。

常に目的を忘れずに、今後も社員一丸となって社内の

改善をし、お客様に満足いただける会社づくりをしています！



下半期は優勝してみせます!!

この調子で頑張ります!



## 今月のパチリ☆

皆さまこんにちは!

先月のこのコーナーでもお伝えいたしましたが、8月4日(日)に「会宝リサイくるまつり 2013」を開催します。

今年もたくさんの催し物、縁日を準備しています。昨年大人気だった催し物の一つのザリガニ釣り。

今年ももちろんあります。実はここで使うザリガニは全部社員が捕まえているんですよ!

約一か月前からとある沼に行き、せっせと捕まえています。

ザリガニに会いに(もちろんそれ以外も)是非遊びに来てください!(担当:松本)

Thank You



# 相場はどうなの? ~生産部より~

皆さまこんにちは、会宝産業の山口です。7月も動きの鈍い相場でしたが、月末にかけて輸出向けのスクラップが少しづつ動き始めました。中国向けが低調との事で、様子見状態が続いていました。国内電炉の炉休も始まり、需給面での懸念材料を抱えていましたが、電炉の在庫水準も決して高い状態ではないのも事実です。更に韓国向けの輸出価格が好調との事で、電炉各社の意向としては、在庫の手当てを有る程度考えたうえで「高値の調整は有っても、下げに傾倒する事は無い」との事です。

一方、韓国の好調の裏にはトルコの輸入価格の続伸や、アメリカのアジア向け価格が強気な事も有って日本のスクラップに注目が集まったかたちとなりました。

暑い時期もあと一ヶ月ほど。毎年、秋口に相場が動く事が多いですが、しっかりと情報をとって不意な動きに備える事が大事かと思えます。

	7月度実績
入庫台数	1,123 台
処理台数	1,140 台
ありがとうございます	

こちらをクリックして下さい!



「元気ライスプロジェクト」(写真1枚で参加できるボランティア活動)  
「写真を送る」という行動を、起こしていただいた皆様に感謝です。  
今後も出来ることから、進めていきますのでよろしくお願い致します。

## ●進捗報告

2013年7月31日現在 **4,539 SMILE**(1,183日経過)



## 今月のおまけ

~ 8/4「会宝リサイくるまつり」開催 ~

8/4(日)に「会宝リサイくるまつり」を開催いたします。今年で3回目になりますが、去年は3,000人近くの人にお越しいただきました。( 昨年の様子 <http://www.kaiho.co.jp/jp/news/2012/08/news-1138.html> )  
今年も多くの方に足を運んでいただきたいと思います。ぜひお気軽にお越しください。

このイベントの開催には、「リサイクル」をもっと身近に感じ、「もったいない」ということに向き合うきっかけをつくるという目的があります。楽しんでいただきながらのきっかけづくりをしたいと思っています。

当日は毎年大人気の「くるま解体ショー」、お子さんに人気の「ザリガニ釣り」や「かぶと虫/クワガタ虫のプレゼント」だけでなく、その他にも「縁日コーナー」「チャリティーオークション」など楽しいイベントをご用意してお待ちしております。

(担当: 佐藤)



## 会宝産業株式会社

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-25  
 車両課 (車両引取り・査定)  
 TEL 076-237-5133  
 FAX 076-237-1950  
 Email: sales@kaiho.co.jp

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3  
 部品課 (部品注文/担当:大森・鹿野)  
 TEL 076-237-5138  
 FAX 076-237-6090  
 Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。  
<http://www.kaiho.co.jp/jp/>  
 ご意見ご要望はこちらまで  
 soumu@kaiho.co.jp (担当:松島)